事業番号	15　09　03

事業改善シート（30年度実施事業分）

■当初要求　□当初予算案　□補正予算案　□点検

事業名	教職員の福利厚生支援事業	部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課
		実施期間	S25 ～	E-mail	hokenko@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン）　※計画策定中のため変更がありま

政策推進の基本方針	学びの県づくり

1　事業の概要

現状（予算編成時）	○教職員の精神系疾患による長期療養休暇・休職者数は、平成27年度に177人と上昇に転じたが、平成28年度は155人と、平成26年度以前の水準になっている。 ○教職員住宅保有状況（平成29年5月1日現在）・・・321棟、1,527戸（入居率67.1%）	30年度要求額	219,935 千円
		職員数	2.00 人
目指す姿	○教職員が意欲を持って教育活動に専念するため、健康管理、健康づくりを支援する。特にメンタルヘルス不調の未然防止と休業後の円滑な職場復帰を図る。 ○教職員の生活安定のため、教職員住宅を配置しているが、ファシリティマネジメントの観点から、より効果的な管理に努めその充実を図る。 （主な実施内容：ﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞ別ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ研修会、管理監督者ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ研修会、教職員住宅の修繕等工事　など）		

事業コスト

区分（単位：千円）		28年度	29年度	30要求	30予算案
予算額	前年度繰越				
	当初予算	222,944	216,076	219,935	
	補正予算				
	合計（A）	222,944	216,076	219,935	0
Aの財源	一般財源	5,587	9,328	18,817	
	県債				
	国庫支出金				
	その他	217,357	206,748	201,118	0
決算額（B）		212,086			
概算人件費	職員数（人）	2	2	2	
	概算人件費（C）	15,828	15,828	15,828	0
概算事業費（B（A）+C）		227,914	231,904	235,763	0

指標及びその達成状況

No	成果指標	28年度末	29年度末（見込）	30年度 目標値	30年度 成果	30年度 達成状況
①	ライフステージ別メンタルヘルス研修会参加者のアンケート満足度	95.20%	95.50%	H29実績を上回る		
②	管理監督者メンタルヘルス研修会参加者のアンケート満足度	98.60%	98.70%	H29実績を上回る		
③	教職員住宅入居率	69.10%	67.10%	H29実績を上回る		

成果指標設定理由	①②教職員メンタルヘルスを推進するためには、それに対する関心・理解が重要であることから、アンケートで「研修会が有意義で参考になった」という参加者の割合を目標値として設定。 ③人事異動による入居必要者数の変動により影響を受けるが、有効活用の状況を入居率により設定。

指摘事項等への対応	指摘事項	対応
□ 監査 □ 決算特別委員会 □ 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	

2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	政策推進の基本方針	細事業名	30年度　実施内容（予定）	職員数（人）	29年度（当初）	30年度（要求）	30年度（予算案）
1	学び	教職員復職訓練・健康審査・研修事業費	・精神神経系疾患休職者等の円滑な職場復帰を支援 ・メンタルヘルス研修会、管理監督者メンタルヘルス相談事業の充実	1.00	1,714	1,737	
2	学び	教職員住宅維持管理修繕費	・「職員宿舎管理戸数適正化実行計画」に則り、活用中の宿舎の修繕及び長期的に活用する宿舎の長寿命化を図る	1.00	214,362	218,198	
			合計	2.00	216,076	219,935	0

※「2　事業を構成する細事業の内容」の「施策推進の基本方針」の略称については次のとおりです。
学び…学びの県づくり　産業…産業の生産性が高い県づくり　快適…人をひきつける快適な県づくり　いのち…いのちを守り育む県づくり
居場所・出番…誰にでも居場所と出番がある県づくり　自治…自治の力みなぎる県づくり